【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年2月12日(2025.2.12)

【公開番号】特開2024-164143(P2024-164143A)
【公開日】令和6年11月26日(2024.11.26)
【年通号数】公開公報(特許)2024-221
【出願番号】特願2024-140751(P2024-140751)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/06(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　1/34(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/0783(2010.01)
Ｃ１２Ｍ　3/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/06
Ｃ１２Ｍ　1/34　　Ｄ
Ｃ１２Ｎ　5/0783
Ｃ１２Ｍ　3/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月3日(2025.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
がん細胞を死滅させるＴ細胞の能力を多区画細胞培養装置を用いて評価する方法であって、
前記多区画細胞培養装置は、複数の区画を有し、かつ、培地撹拌機、培地かん流機、及び気体ポンプ装置を機能させることを必要とせず、
前記区画は、それぞれ気体透過性材料製の底部を有し、
少なくとも一つの区画において、気体透過性材料は滑らかに成形されており、
一つの区画において、気体透過性材料は凸凹に成形されており、
各区画の気体透過性の底部は同一平面上にあり、
各区画は、共通壁によって他の区画から仕切られており、
前記共通壁は、前記共通壁の一方の側の底部の流体が前記共通壁の他方の側へと移動するのを許容する少なくとも一つの開口部を有し、
前記方法は、
がん細胞がＴ細胞とは異なる一つの区画に配置されるように、がん細胞、Ｔ細胞、及び培地を前記多区画細胞培養装置に供給するステップと、
所定期間静置培養するステップと、
各区画におけるがん細胞及びＴ細胞の数を測定するステップと、
を有する、方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法であって、
前記多区画細胞培養装置の一つの区画の少なくとも一部は着色されている、方法。
【請求項３】
請求項１に記載の方法であって、

前記多区画細胞培養装置の壁が着色されている、方法。
【請求項４】
請求項１に記載の方法であって、
前記底部が着色されている、方法。
【請求項５】
請求項１に記載の方法であって、
前記多区画細胞培養装置の少なくとも一つの区画はスキャフォールドを含む、方法。
【請求項６】
請求項１に記載の方法であって、
前記気体透過性材料はシリコーンを含む、方法。
【請求項７】
請求項６に記載の方法であって、
前記シリコーンは０．００８～０．０３０インチの厚みである、方法。
【請求項８】
請求項７に記載の方法であって、
前記シリコーンは０．００８～０．０１２インチの厚みである、方法。
【請求項９】
請求項１に記載の方法であって、
各区画は、前記底部の上に５ｃｍの高さまで培地を保持できる、方法。
【請求項１０】
請求項１に記載の方法であって、
各区画の前記底部は１２ｃｍ^{2}の表面積を有する、方法。
【請求項１１】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～５日間である、方法。
【請求項１２】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～１０日間である、方法。
【請求項１３】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～１２日間である、方法。
【請求項１４】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～１５日間である、方法。
【請求項１５】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～２０日間である、方法。
【請求項１６】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～２５日間である、方法。
【請求項１７】
請求項１に記載の方法であって、
前記所定期間は１～２８日間である、方法。